

第20回記念大会プログラム

- 1 開会のあいさつ 会長 板垣 一徳(新潟県村上市議会議長)
- 2 歓迎のあいさつ 南会津町長 大 宅 宗 吉 様
- 3 来賓祝辞
- 4 議長選出
- 5 議 事

議案第1号 平成24年度事業経過報告

議案第2号 平成24年度決算報告

議案第3号 平成25年度事業計画(案)

議案第4号 平成25年度予算(案)

議案第5号 顧問の設置について

議案第6号 意見書の提出について

6 大会宣言

< 休 憩 >

- 7 記念講演 演題 「今後の地方と林業活性化」
 - 講 師 (株)日本総合研究所 調査部 主席研究員

藻谷浩介氏

8 ショート・スピーチ 「東日本大震災について」

福島県南相馬市議会

議員志賀稔宗氏

- 9 次期総会開催地からのあいさつ
- 10 閉会のあいさつ 副会長 今 井 安 博(高知県大豊町議会)

平成24年度事業経過報告

I 会議関係

5月16日 正副会長会議 (東京都「ルポール麹町」において、正副会長9人、事務局 (随行含む) 10人出席))

議事

- (1) 第19回定期総会について
 - ①総会の日程・会場等について
 - ②総会プログラムについて
 - ③平成23年度事業経過報告及び平成23年度決算報告
 - ④平成24年度事業計画及び平成24年度予算
 - ⑤役員の改選について
 - ⑥宣言文について
 - ⑦総会実施要項(役割分担等)について
 - ⑧平成25年度第20回定期総会の開催地について
 - ⑨全国森林環境税創設のための衆参両院関係議員への直接要望について

《会議概要》

板垣会長あいさつの後、会長(議長)の進行により議事に入り、事務局より議題 ①から⑥まで説明があり、原案のとおり了承された。

議題⑦について総会、交流レセプション、役員会の役割を決めた。

議題®の平成25年度定期総会開催地は、総会時の役員会で決定することとした。 議題®については、今後の動きを見て運動方針、要望内容を促進連盟と連携して いくことで了承された。

7月12日 役員会(理事会) (北海道美瑛町「美瑛町町民センター」において、会長ほか 35 人出席)

議事 第18回定期総会提出議案について

議案第1号 専決処分の承認を求めることについて

議案第2号 平成23年度事業経過報告

議案第3号 平成23年度決算報告(会計監査報告)

議案第4号 平成24 年度事業計画

議案第5号 平成24 年度予算

議案第6号 役員の改選

議案第7号 新税の創設を求める意見書について

・大会宣言について

- ・次期開催地の選定について
- その他

《会議概要》

板垣会長あいさつの後、定期総会提出議案について事務局より説明、第1号から第7号議案はいずれも原案のとおり提出することで了承された。

次に、大会宣言について原案を了承したのに引き続き、次期総会開催地を福島県南 会津町で開催することに決定し閉会した。

7月12日 第19回定期総会 (北海道美瑛町「美瑛町町民センター」において、 279人出席)

議事

議案第1号 専決処分の承認を求めることについて

議案第2号 平成23年度事業経過報告

議案第3号 平成23年度決算報告(会計監査報告)

議案第4号 平成24年度事業計画

議案第5号 平成24年度予算

議案第6号 新税の創設を求める意見書について

- 大会宣言
- ・記念講演 演題 「森をまもり、暮らしを豊かに」 講師 北海道大学大学院農学研究院教授 柿 澤 宏 昭 氏
- ・次期開催地からのあいさつ

《会議概要》

板垣会長から開会のあいさつの後、美瑛町長浜田哲様より歓迎のあいさつを頂戴し、 続いて北海道知事代理副知事高原陽二様、参議院議員小川勝也様、衆議院議員稲津久 様、衆議院議員浅野貴博様、北海道議会森林・林業活性化推進議員連盟会長北海道議 会議員竹内英順様、全国町村議会議長会会長代理宮城県町村議会議長会会長大須賀啓 様、全国森林環境税創設促進連盟会長辻一幸様から祝辞を頂戴し、その後来賓紹介と 祝電を披露した。

次に、来賓公務のため退席の後、鷹栖町議会議長青野敏様を会長が議長に指名して 議事に入り、専決処分の承認を求めることについて事務局から説明があり、質疑なく 了承された。次に、平成23年度事業経過報告及び決算報告について事務局から説明 があり、伊藤監事から監査報告が行われ、質疑に入ったが、質疑なく原案のとおり承 認された。

次に、平成24年度事業計画及び予算について事務局から説明があり、新しい税をつくるためにはもう少し会員市町村を増やしたほうがよいというご意見があり、原案のとおり承認された。

次に、役員改正について事務局から説明があり、質疑なく原案のとおり承認された。

次に、新税の創設を求める意見書について事務局から説明があり、質疑なく、原案のとおり承認された。平成25年9月定例会において、採択されるよう全ての市区町村議会に対して要請活動を行うこととした。

次に、黒松内町議会副議長戸澤和幸様より大会宣言の朗読があり、満場一致で採択された。

休憩後、北海道大学大学院農学研究院教授柿澤宏昭様より「森をまもり、暮らしを 豊かに」と題して記念講演が行われた。

次に、福島県南会津町議会議長芳賀沼順一様より次期定期総会開催地からのあいさつがあり、最後に今井副会長(高知県大豊町議会議員)よる閉会のあいさつの後、全日程を終了した。

- ・交流レセプション (北海道美瑛町「美瑛町町民センター」において171人出席)
- 11月13日 正副会長会議 (東京都「ホテルルポール麹町」において、正副会長8人、監事1人、事務局(随行含む) 9人、促進連盟3人)

協議題

- (1) 次期定期総会日程、会場等について
- (2) 平成25年度の会費について
- (3) 衆参両院国会議員等への要望行動について
- (4) その他

《会議概要》

板垣会長あいさつの後、総務省自治税務局都道府県税課課長補佐横山繁氏から「地球温暖化対策税における地方財源を確保する仕組みについて」の説明を受けた。

その後、報告事項として、11 月までの事業・取り組み経過等や地球温暖化対策に関する意見書の採択状況の報告の後に協議に入った。

協議題(1)については、平成25年度の定期総会は7月11日(木)に福島県南会津町「御蔵入交流館」を会場に行うとの説明があり了承された。

協議題(2)については、現行どおりで了承された。

協議題(3)について事務局から説明があり、促進連盟の正副会長の協力を得ながら 9班体制で直接要望することとした。

協議題(4)のその他については、関係団体にも本連盟の要望内容を周知したほうが良いこと等が話し合われた。

Ⅱ 活動状況

- 4月20日 幹事会・会計監査 (新潟県村上市役所)
 - 平成 23 年度会計監查
 - ・平成23年度事業報告及び決算並びに24年度の事業計画及び予算

5月15日 全国森林環境税創設促進連盟理事会・特別総会

(東京都「全国町村会館」において、正副会長、事務局長出席)

7月 3日 幹事会(新潟県村上市役所)

第19回定期総会実施の事前協議

- 6月下旬~7月上旬 各省の意見募集に対し、促進連盟・議員連盟の両連盟は、財務省、 農林水産省、環境省、総務省の4省あてに「平成25年度税制改正に関する意 見」を要請
- 7月24日 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求 める意見書の採択について(全国の市区町村1,742議会に依頼)
- 8月 1日 森林・林業・林産業活性化推進議員連盟総会 (東京都「衆議院第一議員会館」会長出席)
- 8月3日 自民党農政推進協議会(東京都「自由民主党本部」会長、事務局次長出席)
- 9月 5日 森林・林業・林産業関係団体との意見交換会 (東京都「自由民主党本部」今井副会長出席)
- 10月10日地球温暖化対策に関する意見書の採択状況を照会(全国の市区町村1,267議会に依頼)
- 10月4日 幹事会(新潟県村上市役所)
 - ・正副会長会議開催について
 - ・促進連盟との衆参両院国会議員への合同要請活動について
- 10月25日 第20回定期総会事前会議 (福島県南会津町「御蔵入交流館」会長、幹事長、事務局出席)
- 11月 9日 森林・林業・林産業活性化推進議員連盟総会 (東京都「衆議院第一議員会館」会長、事務局長出席)
- 11 月 14 日 **衆参両院国会議員に対する要望活動**(東京都「衆参両院議員会館」) 全衆参両院国会議員に「全国森林環境税の創設に関する意見」について促進 連盟の協力を得て 9 班編成で直接要望を行った。
- 11月21日 自民党農林部会(東京都「自由民主党本部」会長、事務局長出席)

1月15日 全国森林環境税創設促進連盟との合同正副会長会議

(東京都「全国町村会館」正副会長、事務局出席) 自民党税制調査会委員、自民党政務3役ほか関係国会議員に税制改正につい て要望活動

- 2月 6日 「平成 25 年度税制改正大綱」に伴うお礼と要請活動 (東京都「議員会館等」会長、今井副会長、下起副会長、幹事長、事務局長)
- 2月20日 「連盟だより」(第15号)発行
- 2月22日 会員議会へ「連盟だより」及び「第19回定期総会記録集」送付
- 3月 6日 正副会長・理事に対して自由民主党都道府県連に対する要請活動の実施依 頼

議案第2号

平成24年度決算報告

1歳入 (単位:円)

項		Ħ	当初予算額	補正額	予算現額	収入済額	収入未済額	内訳
会		費	6, 280, 000	0	6, 280, 000	6, 320, 000	0	・316市町村議会×20,000円
助	成	金	660,000	0	660,000	1, 147, 800	0	・促進連盟助成金
繰	越	金	3, 348, 917	0	3, 348, 917	3, 348, 917	0	・前年度繰越金
諸	収	入	1, 083	0	1, 083	553	0	・預金利子
合		計	10, 290, 000	0	10, 290, 000	10, 817, 270	0	

2歳出 (単位:円)

Į	頁	目	当初予算額	補正額	予算現額	支出済額	不用額	内 訳
総	会	費	3, 300, 000	0	3, 300, 000	3, 050, 055	249, 945	・会場借上・資料印刷・講師謝金・芸能謝 礼・記録集作成・欠席会員資料郵送料
会	議	費	1, 460, 000	0	1, 460, 000	1, 385, 838	74, 162	・正副会長会議旅費・会場費 ・監査会旅費
陳	情	費	1, 500, 000	0	1, 500, 000	967, 860	532, 140	・要望会前正副会長会議会場借上料 ・要望会旅費
組	織拡	大 費	850,000	0	850, 000	828, 960	21, 040	・正副会長、理事活動費
人	件	費	700,000	0	700, 000	0	700, 000	
旅		費	400,000	0	400, 000	257, 650	142, 350	• 会議出席旅費
通	信	費	600,000	0	600, 000	520, 249	79, 751	・電話料・インターネット使用料・郵便料 ・宅配料
事	務	費	400,000	0	400, 000	312, 827	87, 173	・消耗品費
予	備	費	1, 080, 000	0	1, 080, 000	0	1, 080, 000	
É	<u>^</u>	計	10, 290, 000	0	10, 290, 000	7, 323, 439	2, 966, 561	

歳入合計 10,817,270 円

歳出合計 7,323,439 円

差引残金 3,493,831 円 次年度へ繰越

平成25年7月11日 提出

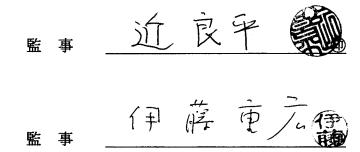
平成25年7月 日

全国森林環境税創設促進議員連盟 会 長 板 垣 一 徳

会 計 監 査 報 告 書

平成24年度全国森林環境税創設促進議員連盟の歳入歳出決算状況について、その書類 及び諸帳簿等を監査したところ、収支とも正確であり、かつ適正であることを認めたので 報告します。

平成25年4月26日



平成25年度事業計画(案)

1 基本方針

近年、森林のもつ、地球温暖化の防止や国土の保全、水資源の涵養、土砂災害防止、生物多様性保全、自然環境の保持など「森林の公益的機能」に対する国民の関心・期待は大きなものとなっている。地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減は、我が国のみならず地球規模の重要かつ喫緊の課題となっている。

しかしながら、木材価格の暴落・低迷や林業従事者の高齢化・後継者不足など、林業を取り巻く環境は、依然として厳しい情勢にあり、山村では過疎化・少子高齢化が著しく進行している。 山村地域の市町村は、森林の整備・保全や担い手の確保・定住対策、森林循環資源の有効利用促進等、森林・林業及びこれらを支える山村の活性化に懸命に取り組んでいるが、危機的な市町村財政の状況から、恒久的・安定的な財源は大幅に不足している。

このような中、自由民主党及び公明党の「平成25年度税制改正大綱」においては、「森林吸収源対策及び地方の地球温暖化対策に関する財源確保」の取組みについて盛り込まれたが、政府の「平成25年度税制改正大綱」においては、「消費税法等改正法第7条の規定に基づき早急に総合的な検討を行う」とする表現に留まり、本連盟が平成25年度において実現を求めた「森林吸収源対策及び地方の地球温暖化対策に関する財源確保」についての実現には至らなかった。

また、平成24年10月に導入された「石油石炭税の税率の特例措置」については、森林の地球温暖化対策に果たす役割の重要性に鑑み、これを保全・整備する市町村に「石油石炭税の税率の特例措置」による税収の一定割合を森林面積に応じて譲与する仕組みの構築についての要請を行ったが実現に至らなかったところである。

このことを踏まえ、本議員連盟は、森林の公益的機能を持続的に発揮させるための森林・林業・山村対策の抜本的な強化をはかるため、二酸化炭素排出源を課税対象とする新たな税財源として「全国森林環境税」を創設し、国民的支援の仕組みづくりを求めるとともに、「石油石炭税の税率の特例措置」においては、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を市町村が推進するために必要な地方財源を確保するため、その税収の一定割合を森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を導入する税財源制度を創設するよう、全国の首長で組織されている促進連盟(全国森林環境税創設促進連盟)との一層の連携強化を図りながら、新税の早期実現並びに「石油石炭税の税率の特例措置」による税収の一定割合を森林面積に応じて譲与する仕組みの構築の導入を期するため、会員はもとより全国の市区町村議会が一致団結して次の事業を行う。

2 事業の概要

(1) 活 動

- ① 政府をはじめ国会議員や各党都道府県連に対する要望活動
- ② 川上から川下へ国民の理解を得るための活動
- ③ 関係6団体への協力要請活動
- ④ 都道府県未加入市町村議会に対する加入促進・組織拡大運動
- ⑤ 全国の市区町村議会において「森林吸収源対策及び地方の地球温暖化対策に関する財源 確保」のための意見書採択
- ⑥ 林業関係団体、経済関係団体等との連携
- (7) その他、目的達成のために必要な事業

(2) 会 議

① 定期総会及び正副会長会議、役員会(理事会)等の開催

平成25年度予算(案)

1 歳入 (単位:円)

項		I	本年度予算額	前年度予算額	増	減	内 訳
会		費	6, 440, 000	6, 280, 000		160, 000	・322市町村議会×20,000円
助	成	金	700, 000	660, 000		40,000	・助成金
繰	越	金	3, 493, 831	3, 348, 917		144, 914	・前年度繰越金
諸	収	入	169	1, 083		△ 914	・預金利子
合		計	10, 634, 000	10, 290, 000		344, 000	

2歳出 (単位:円)

項	Ħ	本年度予算額	前年度予算額	増減	内 訳
総会	費	3, 300, 000	3, 300, 000	0	・総会会場借上料・看板等製作代 ・資料印刷・講師謝金・郷土芸能謝礼 ・記録集印刷・資料郵送料
会議	費	1, 460, 000	1, 460, 000	0	・フォーラム会場借上料 ・正副会長会議旅費、会場借上料 ・監査会旅費
陳情	費	1, 500, 000	1, 500, 000	0	・正副会長要望会旅費、会場借上料 ・要望書作成
組織拡	大 費	850, 000	850, 000	0	・正副会長、理事活動費
人件	費	700, 000	700, 000	0	• 事務局補助職員賃金
旅	費	400,000	400, 000	0	・促進連盟会議等出席旅費
通信	費	800,000	600, 000	200, 000	・意見書採択郵送料・加入促進郵送料 ・電話使用料・郵便料・宅配料
事務	費	500,000	400, 000	100,000	・意見書採択経費・加入促進経費 ・消耗品費
予備	費	1, 124, 000	1, 080, 000	44, 000	
合	計	10, 634, 000	10, 290, 000	344, 000	

歳入合計 10,634,000 円 歳出合計 10,634,000 円 差引残金 0 円

項目間の流用については会長に一任する。

平成25年7月11日 提出

平成25年7月 日

全国森林環境税創設促進議員連盟

会 長 板 垣 一 徳

平成25年度会費について

平成25年度会費の額及び納入時期、納入方法について次のとおり定める。

1 会費の額

1市町村議会当たり2万円とする。

2 納入時期

平成25年9月末日までとする。

3 納入方法

会員市町村議会は、会長が定めた金融機関の本連盟預金口座へ納入する ものとする。

※ 定期総会終了後、納付書を送付しますので、これにより納入願います。

議案第5号

顧問の設置について

本連盟に、次のとおり顧問を置く。

中谷 元衆議院議員(自由民主党高知県第2選挙区) 斎藤洋明衆議院議員(自由民主党新潟県第3選挙区)

オブザーバー 長島忠美衆議院議員(自由民主党新潟県第5選挙区)

平成25年7月11日 提出 平成25年7月 日

全国森林環境税創設促進議員連盟 会 長 板 垣 一 徳

議案第6号

意見書の提出について

本連盟の目的達成のために、関係省庁及び国会等関係機関に対し別記意見書を各市区町村議会から提出する。

平成 2 5 年 7 月 1 1 日 提出 平成 2 5 年 7 月 日

全国森林環境税創設促進議員連盟 会 長 板 垣 一 徳

「別記」

「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書(例)

地球温暖化防止のための温室効果ガスの削減は、我が国のみならず地球規模の重要かつ喫緊の課題となっており、森林のもつ地球温暖化の防止や国土の保全、水資源の涵養、自然環境の保持など「森林の公益的機能」に対する国民の関心と期待は大きくなっている。

また、わが国は、平成25年度以降においても、京都議定書目標達成計画に掲げられたもの(第1約束期間における温室効果ガス排出削減義務6%のうち、3.8%を森林吸収量で確保)と同等以上の取組みを推進することとしている。

このような経緯も踏まえ、「地球温暖化対策のための石油石炭税の税率の特例措置」が平成24年10月に導入されたが、使途は、CO2排出抑制対策に限定されており、森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保については、「早急に総合的な検討を行う」との方針に止まっている。

もとより、地球温暖化防止をより確実なものとするためには、森林の整備・保全等の 森林吸収源対策や豊富な自然環境が生み出す再生可能エネルギーの活用などの取り組 みを、山村地域の市町村が主体的・総合的に実施することが不可欠である。

しかしながら、これら市町村では、木材価格の暴落・低迷や林業従事者の高齢化、後継者不足など厳しい情勢にあり、その結果、山そのものが荒廃し、自然災害等の脅威に 国民の生命財産が脅かされるといった事態が生じている。

これを再生させることと共に、森林吸収源対策などの地球温暖化対策に取組むための恒久的・安定的な財源確保を講ずることが急務である。

よって、下記事項の実現を強く求めるものである。

記

自然災害などの脅威から国民の生命財産を守るための森林・林業・山村対策の抜本的な強化をはかることに加え、二酸化炭素吸収源として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえ、「石油石炭税の税率の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成25年 月 日

○○市・区・町・村議会議長

宣言

国土面積の3分の2を占める森林は、木材等林産物の供給をはじめ、地球温暖化の防止や国土の保全、水資源の涵養、土砂災害防止、生物多様性保全、自然環境の保持など、多様な公益的機能を有しており、国民生活と切り離すことのできない貴重な財産である。

この緑豊かな国土を保全し、未来の子どもたちに受け継いでいくことは、 森林の恵みを受けて現在を生きる私たち国民に課せられた責務である。

しかし、この生命の源である水と空気と土を育み、緑の国土を守っている 我が国の山村は、木材価格の暴落・低迷や林業従事者の高齢化・後継者不足 などにより、生業としての林業は衰退を余儀なくされ、極めて深刻かつ危機 的な状況での自治体運営を迫られている。その結果、山そのものが荒廃し、 自然災害等の脅威に対して、国民の生命・財産が危険にさらされるといった 事態が生じている。

川上の山村と川下の都市は、今こそ手を携えて、この緑豊かな美しい国土 と山村を守り、国民一人ひとりが安心して暮らせる資源循環型社会を実現し ていかなければならない。

私たち「全国森林環境税創設促進議員連盟」は、森林が果たす公益的機能とその重要性を広く国民に訴えるとともに、森林・林業・山村対策の抜本的な強化をはかるため、二酸化炭素排出源を課税対象として最も重要な機能を有する森林の整備・保全等を市町村が推進するために必要な森林吸収源対策及び地方の地球温暖化対策に関する財源確保のための、新たな税財源である「全国森林環境税」の早期実現を目指すとともに、「石油石炭税の税率の特例措置」による税収の一定割合を森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を期するため、全国の関係市町村議会が一致団結し、より強力に運動を展開することをここに宣言する。

平成25年7月11日

全国森林環境税創設促進議員連盟「第20回記念大会」



記念講演

「今後の地方と林業の活性化」

(株)日本総合研究所 調査部 主席研究員 藻 谷 浩 介 氏

~ プロフィール ~

山口県生まれの48歳。

平成の合併前に3,200市町村の99.9%、海外59ヶ国をほぼ私費で訪問し、地域特性を多面的に把握。

東大法学部卒業後、日本開発銀行入行。

米国コロンビア大学ビジネススクール留学、日本経済研究所出向などを経ながら、2000年頃より地域振興の各分野で精力的に研究・著作・講演を行う。 2012年より現職。

公職やテレビ出演多数。近著「デフレの正体」(角川 One テーマ21)はベストセラーとなった。

■学歴

1964年 山口県周南市(旧徳山市)生まれ

1983年 山口県立徳山高校 理数科卒業、東京大学 文科 I 類入学

1994年 米国 NY 市コロンビア大学経営大学院(ビジネススクール)卒業

■職歴

1988年 日本開発銀行(現日本政策投資銀行)入行

1992年 米国 NY 市コロンビア大学経営大学院派遣留学

1994年 (財)日本経済研究所調査局研究員(派遣出向)

1999年 日本政策投資銀行地域企画部調査役 2007年から同地域振興部参事役

2002年 NPO 法人 ComPus 地域経営支援ネットワーク理事 2006年から同理事長 (現職)

2009年 **DBJ** シンガポール(株) シニアアドバイザー兼 **IE** Singapore (シンガポール政府国際企業庁) パートナー

2010年 (株)日本政策投資銀行地域企画部参事役2012年から同特任顧問(非常勤・現職)

2012年 (株)日本総合研究所調査部主席研究員(会社に席のない単年度更新年俸制社員・現職)

×	ŧ	



ショート・スピーチ

「東日本大震災について」

福島県南相馬市議会 議員 志賀 稔 宗 氏

~ プロフィール ~

1952年(昭和27年)生まれ。

南相馬市小高区川房字清水に住所を有しているが、現在、南相馬市原町区二見町三丁目の避難先に居住。

現在南相馬市議会議員として3期目、公明党南相馬市議団に所属。

Х	t		

全国森林環境税創設促進議員連盟規約

平成6年10月7日連盟規約第1号

第1章 総則

- 第1条 本会は、全国森林環境税創設促進議員連盟と称する。
- 第2条 本会の事務所は、会長の定めるところにおく。
- 第3条 本会は、森林環境税の創設に賛同する市町村議会及び議員をもって組織する。
- 第4条 本会は、森林のもつ公益的な機能と役割を広く国民に訴え森林環境税創設の早期 実現をめざすとともに、関係市町村の振興を図ることを目的とする。
- 第5条 前条の目的を達成するため次の事業を行う。
 - (1) 調査・研究に関する事項
 - (2) 陳情・請願に必要な事項
 - (3) その他本会の目的に必要な事項

第2章 会員

- 第6条 本会に加入しようとするものは、加入申し込み書を会長宛に提出し、会長の承認 を得るものとする。
- 第7条 本会を脱会しようとするものは、脱会届を提出しなければならない。

第3章 機関

第1節 役 員

第8条 本会に次の役員をおく。選出は役員選出規定による。

会 長 1名

副会長 若干名

理 事 若干名

監 事 2名

- 第9条 役員は、総会において選任する。
- 2 役員に欠員が生じたときは、役員会において選任する。
- 3 第2項の役員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 第10条 会長は、会務を総理し、本会を代表する。
- 2 副会長は、会長を補佐し、会長が事故又は欠員のときはその職務を代行する。
- 理事は、本会の重要事項を審議する。
- 4 監事は、会務の執行及び会計の適否を監査する。
- 第11条 役員の任期は2年とする。ただし再選は妨げない。

第2節 総 会

- 第12条 総会は、定期総会及び臨時総会の2種類とする。
- 2 定期総会は、年1回これを招集する。
- 3 臨時総会は、役員会で必要と認めた時これを招集する。
- 第13条 総会に附議すべき事項は次のとおりとする。
 - (1) 規約の変更
 - (2) 当年度の活動計画及び収入支出予算
 - (3) 前年度の収入支出決算報告
 - (4) その他役員会で重要と認めた事項
- 2 前項第2号に規定する当年度の活動計画若しくは収入支出予算に補正(以下この項において「予算等の補正」という。)が必要な場合で総会を開く暇がない場合の予算等の補正については、会長が役員会に諮って補正することができる。その場合の補正については、次の総会で承認を得るものとする。

- 第14条 総会の議事は、出席会員の過半数をもって決する。可否同数のときは、議長の 決するところによる。
- 第15条 総会は会長が招集し、議長は会長が指名する。

第3節 役員会

- 第16条 役員会の議事は、出席役員の過半数をもって決する。可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 第17条 役員会の議事は、書面審議をもってこれに代えることができる。
- 第 18 条 役員会の招集者及び議長には、会長がこれにあたる。 第 4 節 専門委員会及び顧問
- 第19条 本会に必要なる事項を調査するため、常設又は臨時の専門委員会をおくことができる。
- 2 専門委員会委員は、役員及び学識経験を有する者のうちから、役員会に諮って会長がこれを委嘱する。
- 第20条 本会に顧問若干名をおくことができる。
- 2 顧問には学識経験を有する者のうちから、役員会に諮って会長がこれを委嘱する。
- 3 顧問は、役員会の諮問に応じ、意見を開陳するものとする。 第5節 幹 事
- 第21条 本会に幹事をおき、この会の事務処理にあたる。
- 2 幹事は、会長が指名するものとする。

第4章 会計

- 第22条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。
- 第23条 本会の経費は、次の収入をもってこれにあてる。
 - (1) 会員の分担金(会費)
 - (2) 有志の寄付金
 - (3) 雑収入
- 2 前項第1号会員の分担金額は、総会において決める。
- 3 会長は、支出金の支出に充てるため、一時借入金の借入れを必要と認めるときは、一 時借入金の額、借入先、借入期間及び利率を定めて金融機関から借入れることができる ものとする。ただし、一時借入金を必要としなくなったときは、速やかに返納しなけれ ばならない。

第5章 雜則

第24条 本会則に規定するもののほか、会務執行に関する事項は役員会の決議でこれを 決める。

附則

この規約は、平成6年10月7日から施行する。

附則

この規約は、平成9年8月1日から施行する。

附則

この規約は、平成15年7月11日から施行する。

附則

この規約は、平成16年7月16日から施行する。

附則

この規約は、平成18年11月21日から施行する。

附則

この規約は、平成23年7月14日から施行し、改正後の議員連盟規約の規定は、平成23年6月22日から適用する。

全国森林環境税創設促進議員連盟役員名簿

平成25年6月28日現在

ブロ	ب عدد صد		Δn.π	n44. /->	Ι.	-		•	-34		<i>h</i>	 -	-	l ela	連 絡 先
ック	都道府	F県名 	役	職名	J	氏	彳	<u> </u>	議	会:	名	所	在	地	TEL
北			副组	会長	沼	田	成	功	美	瑛	町	上川郡美瑛町本	町4丁目6	番1号	0166-92-4472
海	北淮	道	理	事	菅	原	正	久	黒	松 内	町	寿都郡黒松内町	字黒松内	302番地1	0136-72-3314
道			理	事	谷		_	之	下	Ш	町	上川郡下川町幸	町63番地		01655-4-2511
	青	森	理	事	小	Л	洋	平	+	和田	市	十和田市西十二	番町6番1	号	0176-51-6781
東	岩	手	理	事	加	藤	久	民	岩	泉	町	下閉伊郡岩泉町	岩泉字惣	畑59番地5	0194-22-2111
	宮	城	理	事	大	須賀	貿	啓	大	和	町	黒川郡大和町吉	岡字町裏	16番地	022-345-7506
	秋	田	理	事	武	石	善	治	上	小阿仁	_村	北秋田郡上小阿伯	二村小沢田	3字向川原118	0186-77-2226
北	山	形	理	事	野	村	廣	登	鶴	岡	市	鶴岡市馬場町9都	№25号		0235-25-2111
	福	島	副组	会長	芳	賀沼	順	_	南	会 津	町	南会津郡南会津岡	丁田島字後	後原甲3531番地1	0241-62-6310
	群	馬	理	事	大	久化	呆	守	嬬	恋	村	吾妻郡嬬恋村大	字大前11	0番地	0279-96-1972
関	埼	玉	副组	会長	浅	海		忠	秩	父	市	秩父市下吉田65	85-2		0494-72-2122
	東	京	理	事	清	水	典	子	奥	多摩	町	西多摩郡奥多摩	町氷川21	5番地6	0428-83-2302
東	神弟	₹JII	理	事	池	谷	在沙	欠郎	山	北	町	足柄上郡山北町	山北1301	番地4	0465-75-3653
	Щ	梨	理	事	望	月	十四	四朗	早	Ш	町	南巨郡早川町高	住758番埠	<u>t</u>	0556-45-2511
北	新	潟	会	長	板	垣	_	徳	村	上	市	村上市三之町1都	香 1号		0254-53-3219
陸	富	Щ	理	事	水	島	_	友	朝	日	町	下新川郡朝日町	道下1133	番地	0765-83-1100
信	福	井	理	事	松	原	啓	治	大	野	市	大野市天神町1都	昏1号		0779-66-1111
越	長	野	副组	会長	下	起	幸	_	大	桑	村	木曽郡大桑村大	字長野27	78番地	0264-55-3080
東	岐	阜	副组	会長	中	田	清	介	高	山	市	髙山市花岡町2つ	厂目18番均	<u>t</u>	0577-35-3152
米	静	岡	理	事	榊	原	淑	友	森		町	周智郡森町森21	01番地の	1	0538-85-6329
海	愛	知	理	事	熊	谷	行	史	豊	根	村	北設楽郡豊根村	下黒川蕨	平2	0536-85-1311
ଫ	Ξ	重	理	事	増	田	幸	美	熊	野	市	熊野市井戸町79	6		0597-85-2210
近	滋	賀	理	事	村	山	庄	衛	甲	賀	市	甲賀市水口町水	口6053番	地	0748-65-0654
	兵	庫	理	事	上	道	正	明	朝	来	市	朝来市和田山町	東谷213都	季地 1	079-672-6129
畿	奈	良	理	事	松	實	豊	隆	+	津川	村	吉野郡十津川村	大字小原	225番地1	0746-62-0002
較	和哥	カル	副组	会長	塚		寿	雄	田	辺	市	田辺市新屋敷町	1番地		0739-26-9940
中	鳥	取	副组	会長	牧	田	武	文	Ξ	朝	町	東伯郡三朝町大	字大瀬99	9番地2	0858-43-3511
Т	島	根	理	事	景	山	孝	志	奥	出雲	町	仁多郡奥出雲町	横田1037	番地	0854-52-2678
国	岡	山	理	事	金	田	豊	治	西	粟 倉	村	英田郡西粟倉村	大字影石	2番地	0868-79-2111
	広	島	理	事	中	本	正	廣		日太芸	町	山県郡安芸太田	町大字戸	河内784番地1	0826-28-1965
四	徳	島	理	事	木	下	善	之	三	好	市	三好市池田町シ	ンマチ15	00-2	0883-72-7630
	香	Л	理	事	大	岡	克	三	まん	んの う	町	仲多度郡まんの	う町吉野	下430番地	0877-73-0109
国	愛	媛	理	事	瀧	野		志	人	万高原	町	上浮穴郡久万高	原町久万	188番地	0892-21-1111
	高	知	副组	会長	今	井	安	博	大	豊	町	長岡郡大豊町高	須231番均	<u></u>	0887-72-0450
	福	岡	理	事	川	口	誠	=	八	女	市	八女市立花町95	番地1		0943-23-4922
九	佐	賀	理	事	福	井	久	男	佐	賀	市	佐賀市栄町1番	1号		0952-40-7310
	熊	本	理	事	犬	童	數	元	球	磨	村	球磨郡球磨村大	字渡丙17	30	0966-32-1111
	大	分	副部	会長	赤	星	仁-	一郎	日	田	市	日田市田島2丁目	16番1号		0973-22-8214
州	宮	崎	理	事	那	須		清	椎	葉	村	東臼杵郡椎葉村	大字下福	良1447-20	0982-67-3209
	鹿児	島	理	事	緒	方	重	則	伊	佐	市	伊佐市大口里18	88番地		0995-23-1335
監			4	E	伊	藤	重	廣	山雅	/県小国	国町	西置賜郡小国町	大字小国	小坂町2-70	0238-62-2111
					近		良	平	新潟	県関	川村	岩船郡関川村大	字下関91	2番地	0254-64-1441
事	幹	事	Į.	長	大	滝	国	吉				사고라를 카마니의	- 14-14-14-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1		
務	総	務	幹	事	大	滝	久	志	新源	易県村_	上市	村上市三之町1都 (村上市議会事			0254-53-1275
局	会	計	幹	事	川	村	敏	晴				, 14 — 15 MAR 47			

全国森林環境税創設促進議員連盟加入議会名簿

平成25年6月28日現在

ブロック名	都道府県名		議	Ź	<u></u>	名	十)双23十 0 万 20	会員数
北海道	北海道	ぜぇいちょう 美 瑛 町議会	はろかないち 幌加内	町議会	おけとち戸	ょう 町議会	中川 町議会	
		やくもちょう 八雲町議会	きず 麻	町議会	上加加	町議会	美深。町議会	
		ッベッちょう	まっまえた 松 前	が議会	当別	町議会	りくべっちょう	
		東神楽町議会	がが布	町議会	たかすちた	ょう 町議会	愛別 町議会	26
		下 川 町議会	くろまっないな 黒松内	町議会	きょうごくで	ちょう 町議会	島 牧 村議会	
		ょぃぁぁぁゥ 余 市 町議会	みなみふらの 南富良野	ちょう 野町議会	にせこち ニセコ	町議会	たきのうえちょう 電上 町議会	
		らんこしちょう 蘭 越 町議会	えんがるな	ちょう 町議会				
東北	青森県	新郷村議会	東北	まち町議会	たっこ	* 5 町議会	なかうらまち 町議会	
		とわだした議会	^{はしかみも} 階 上	・ょう 町議会	きんの介	まち 町議会	なんぶちょう 町議会	12
		ヹゕ゚ゔ゚゚゚゚゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゚゚゙゙゙゙゙゙ヹ゚゙゙゙゙゙゙	なかどまり 中 泊	* 5 町議会	ろっかしょ 六ヶ所	村議会	横浜 町議会	
	岩手県	いわいずみちょう 岩 泉 町議会	くずまきち	町議会	す ^{み た ち} 住 田	ょう 町議会	ッカでまり 岩 手 町議会	5
		ッちのへまち 一 戸 町議会						J
	宮城県	大和戦義会	しちかしゅく 七ヶ宿	**** 町議会	登米	市議会	加美野議会	4
	秋田県	かみこあにむら 上小阿仁村議会	羽後	⁵ 町議会	ひがしなる世東 成瀬	が議会	*************************************	5
		湯ができる。						J
	山形県	かねやままち金 山 町議会	おぐ国	* 5 町議会	最上	* 5 町議会	西川 町議会	
		朝日町議会	が豊	* 5 町議会	っる おか 岡	市議会	大がなまた町議会	9
		白鷹町議会						
	福島県	いわき市議会	かのえまた檜枝岐	村議会	下 郷	まち 町議会	ただみまち	22
		あいづわかまっし 会津若松市議会	いまうわ 昭 和	が議会	まるどの 殿	* 5 町議会	なみえまち 浪 江 町議会	22

ブロック名	都道府県名		議	会名		会員数
	福島県	ュール まま ち	郡山市議会	かねやままち 金 山 町議会	^{ばんだいまち} 磐 梯 町議会	
		かわうちむら 川 内 村議会	いいたてむら 対議会	^{こまりまち} 桑 折 町議会	ならはま 5 世 義会	
		大 玉 村議会	西会津町議会	たむけられ 田がお 市議会	みなみあいづまち 南会津町議会	
		やないづまち 町議会	いなわしろ まち 猪苗代町議会			
関東	群馬県	っまごいむら 対議会	しもにたまち 下仁田町議会	藤岡市議会	かのじょうまち	4
	埼玉県	東秩父村議会	ゅ な の ま ち 皆 野 町議会	*** **** ** ** ** ** ** ** *** ** **	横瀬町議会	5
		** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **				0
	東京都	* くたままち 奥多摩町議会	でのはらむら 村議会	o の出町議会	青梅市議会	4
	神奈川県	清川 村議会	やまきたまち 山 北 町議会			2
	山梨県	はゃかわちょう 早 川 町議会	大 月 市議会	なんぶちょう 一	みのぶちょう 野議会	7
		ずずぎ 村議会	やまなした議会	丹波山村議会		•
北陸・信越	新潟県	加 茂 市議会	湯がまち町議会	関州村議会	新発田市議会	
		がらかみし市議会	っぱん まち 町議会	たいないし市議会	南魚沼市議会	14
		が の し 市議会	阿賀 町議会	東島浦村議会	魚沼市議会	11
		聖 籠 町議会	がりおむら対議会			
	富山県	朝日町議会				1
	福井県	大 野 市議会	ル 田 町議会	a 井 市議会	敦 賀 市議会	
		小 浜 市議会	みなみえちぜんちょう 南越前町議会	越前市議会	鯖 江 市議会	10
		がっゃました議会	おおい町議会			
	長野県	大 鹿 村議会	はくばむら白馬が議会	大桑村議会	阿智村議会	32
		まうたきむら 王 滝 村議会	ませい 対議会	平 谷 村議会	のざわおんせんむら 野沢温泉村議会	- -

ブロック名	都道府県名		議	<u>/</u>	会 名		会員数
	長野県	まかえむら 村議会	信 濃	町議会	*でまだいらむら 木島平村議会	ポーク 村議会	
		根羽村議会	たてしな立科	* 5 町議会	たかぎむら 村議会	天 龍 村議会	
		南相木村議会	まっかわ 川	が議会	_{あげまっまち} 上 松 町議会	^{みなみまきむら} 南 牧 村議会	
		ゕゕゕゕ 川 上 村議会	なぎそま南木曽	5 町議会	下條 村議会	ルガガガ 田 町議会	
		* 曽 町議会	伊 那	市議会	まっ かわ まち 松 川 町議会	きょぉゕむら	
		*************************************	あなんち 南	ょう 町議会	c 佐久穂町議会	売 木 村議会	
東海	岐阜県	やまがたし	たかや	まし	白 川 町議会	中津川市議会	
		恵 那 市議会	東白川	村議会	本業・市議会	郡上が議会	12
		関 市議会	ド 呂	市議会	飛 騨 市議会	いびがわちょう 揖斐川町議会	
	静岡県	まりま 5 森 町議会	浜 松	市議会	かれないない。	島 田 市議会	5
		藤					5
	愛知県	東栄町議会	豊根	がられる	したらちょう 設楽 町議会	新城 市議会	4
	三重県	御 浜 町議会	おおき	市議会	熊 野 市議会	度 会 町議会	8
		まっさかし 松 阪 市議会	津市	議会	き ほく ちょう 紀 北 町議会	大台 町議会	0
近畿	滋賀県	多賀町議会	東 東	がして	で が し		3
	兵庫県	朝来市議会	きがず	ょう 町議会			2
	奈良県	みっえ むら 村議会	きの概	村議会	とっかわむら 十津川村議会	野迫川村議会	
		かわかみむら 川 上 村議会	ましのち野	* 可議会	下北山村議会	かみきたやまむら 上北山村議会	12
		スタカナラ 大議会	てんかわ	が議会	東吉野村議会	五 條 市議会	
	和歌山県	こうやちょう	またやま 山	が議会	湯、浅、町議会	橋本市議会	19
		こざがわちょう 古座川町議会	くしもとち	町議会	かつらぎ町議会	^{なちかつうらちょう} 那智勝浦町議会	19

ブロッ	ック名	都道府県名		議	<u>/</u>	<u>}</u>	名		会員数
		和歌山県	すさみ町議会	かみとんだち上富田	町議会	ひろがわち広川	町議会	新常常市議会	
			たなべし 市議会	List 白 浜	ょう 町議会	ありだがわち 有田川	町議会	日高川町議会	
			************************************	くどやまち	町議会	印。南	ょうぎかい町議会		
中	玉	鳥取県	こうなちょう 江 府 町議会	ちずまり智頭	町議会	きさまり 朝	ょう 町議会	ひのちょう日野町議会	
			日南 町議会	岩美	ょう 町議会	おお被	ょう町議会	とっと 市議会	12
			だいせんちょう 大 山 町議会	全 古	市議会	ながらいます。	ょう町議会	やずちょう氏の	
		島根県	ぉくいずもちょう 奥出雲町議会	飲った。	町議会	うなな	市議会		3
		岡山県	にしあわくらそん 西栗倉村議会	新生	そん 村議会	ががみのち鏡野	町議会		3
		広島県	安芸太田町議会						1
四	玉	徳島県	かみやまちょう 神山 町議会	きなごうち 佐那河内	そん 内村議会	上勝	ょう 町議会	美 馬 市議会	8
			学 好 市議会	かいようち海陽	ょう 町議会	那智	・ う 町議会	^{ひがし} 東みよし町議会	8
		愛媛県	とべきょう 武義会	まっのち松野	ょう 町議会	まさき ち 前	ょう町議会	かかたちょう 町議会	8
			今治市議会	くまこうげん 人万高原	が議会	きょくち鬼北	ょう町議会	西 予 市議会	0
		香川県	まんのう町議会	き 大	町議会				2
		高知県	***とよちょう 大 豊 町議会	土 佐	町議会	大 川	が議会	もとやまちょう 本 山 町議会	
			ゅ _{すはらちょう} 檮 原 町議会	うまじむ 馬路	が議会	きたがわれ	がられて	い の 町議会	
			高知市議会	っぱ 野	町議会	なかときち 中土佐	町議会	によどがわちょう 仁淀川町議会	19
			日 高 村議会	くろしおち 黒 潮	町議会	世界がとち 四万十	町議会	^売 ばらむ	
			せかりちょう 佐川 町議会	ち 田	ょう町議会	とうょうな	ょう町議会		
九	州	福岡県	赤がむら村議会	ひろかわ 広 川	まち 町議会	きさぐり 栗	_{まち} 町議会	そえだまち 添 田 町議会	
			^{なかがわまち} 那珂川町議会	ひさやま	まち 町議会	大刀洗	_{まち} 町議会	大が木が麓会	10
			うきは市議会	r [*] 女	市議会				

ブロック名	都道府県名		議	会名		会員数
	佐賀県	佐 賀 市議会				1
	熊本県	ゅのまえまち 湯 前 町議会	南小国町議会	水上が議会	多良木町議会	
		たかもりまち	さがらそん 村議会	五 木 村議会	あさぎり町議会	13
		やまとちょう 山 都 町議会	やまえむら 議会	球磨村議会	錦雪麗鑫会	10
		ポペル 国 町議会				
	大分県	ロ 田 市議会	ここのえまち 町議会	た け た し 市議会	、 ^{す ま ち} 玖 珠 町議会	5
		佐 伯 市議会				5
	宮崎県	西米良村議会	推 葉 村議会	まるっかそん 諸塚 村議会	西都市議会	6
		美郷 町議会	* 地域 町議会			0
	鹿児島県	伊佐 市議会	まりしました 議会	大 和 村議会	がくれ 上	4
合	計					322

定期総会開催一覧

回	期日	場所	ブロック	記念講演演題・講師
			/ . //	
1	Н 6.10.7	山形県(温海町) 温海町ふれあいセンター	東北	「なぜ森林交付税が必要か」 明海大学教授 森 厳 夫 氏
2	Н 7. 8.25	新潟県 (新潟市) 自 治 会 館	北陸信越	「フォレスター」への期待 新潟大学農学部教授 竹 内 公 男 氏
		新潟県(新潟市)	北陸	
3	Н 8. 8. 5	新為県(新為市) 自 治 会 館	信越	「木の文化と伝統技術」 新潟職業能力開発短大助教授 村尾欣一 氏
4	Н 9. 8. 1	北海道 (美瑛町) 国立大雪青年の家	北海道	「森林の保全―守る、作る、再生する―」 北海道大学農学部附属演習林教授 松 田 彊 氏
5	Н 10. 7.22	高知県 (高知市) 高知 新聞放送会館	四国	「日本林業再建の筋書き」 筑波大学教授 熊 崎 實 氏
6	Н 11. 7.22	東京都(千代田区) 憲 政 記 念 館	関東	「分権時代における林政の基本方向」-森林交付税の意義- 明海大学教授 森 厳 夫 氏
7	Н 12. 7.19	福島県 (会津若松市) 丸 峰 観 光 ホ テ ル	東北	「木を育て森に生きる」 徴日本林業経営者協会婦人部会部長 MORIMORI ネットワーク代表 山縣 睦子 氏
8	Н 13. 7. 4	鳥取県(三朝町) 三朝町総合文化ホール	中国	「森を支える地方財政に」 鳥取県知事 片山 善博 氏
9	Н 14. 7.12	福岡県 (久留米市) ホテルニュープラザ	九州	「自然に生きる」 作 家 安部龍太郎氏
10	Н 15. 7.11	岐阜県(高山市) 高山グリーンホテル	東海	「人類の未来を決める森」 工芸家 稲本 正氏
11	Н 16. 7.16	兵庫県(三田市) 神戸三田新阪急ホテル	近畿	「いのちを育み国を守る森」 京都大学名誉教授 河 合 雅 雄 氏
12	Н 17. 7. 7	東京都(昭島市) フォレスト・イン昭和館	関東	「山村の暮らしとマタギの世界」 作 家 熊 谷 達 也 氏 (第131回 平成16年度直木賞受賞作家)
13	Н 18. 7.13	新潟県 (新潟市) ホテル日航新潟	北陸信越	「縄文文化から日本の自然を考える」 -自然とつきあう技と地域の物語づくり- 新潟大学工学部教授 大熊 孝氏
14	Н 19. 7.12	高知県(高知市) 三 翠 園	四 国	「高知県森林環境税〜これまでとこれから〜」 高知大学大学院・黒潮圏海洋科学研究科 教 授 飯 國 芳 明 氏
15	Н 20. 7.10	埼玉県(秩父市) 農園ホテル	関東	「森と水の力を未来につなぐ」 埼玉県秩父市長 栗 原 稔 氏
16	Н 21. 7. 9	長野県 (松本市) ホテル翔峰	北陸信越	「森・文化・人間」 信州大学名誉教授農学博士 菅 原 聰 氏
17	Н 22. 7.15	和歌山県 (田辺市) ガーデンホテルハナヨ	近畿	「南方熊楠と熊野の森」 関西大学人間健康学部 准教授 安田忠典氏
18	Н 23. 7.14	鳥取県(三朝町) 三朝町総合文化ホール	中国	「県民と共に進める森林(もり)づくり」 鳥取県知事 平井伸治氏
19	Н 24. 7.12	北海道(美瑛町) 美瑛町町民センター	北海道	「森をまもり、暮らしを豊かに」 北海道大学大学院農学研究院教授 柿 澤 宏 昭 氏
20	Н 25. 7.11	福島県(南会津町) 御蔵入交流館	東北	「今後の地方と林業の活性化」 (株)日本総合研究所 調査部 主席研究員 藻 谷 浩 介 氏



尾瀬国立公園「田代山」



重要伝統的建造物群保存地区 「前沢曲家集落」



八百弐拾余年の伝統 「会津田島祇園祭」 (七行器行列)

ひめさゆり群生地「高清水自然公園」



全国森林環境税創設促進議員連盟

〒958-8501

新 潟 県 村 上 市 三 之 町 1 番 1 号 村上市議会事務局内

TEL·FAX 0254-53-1275 (直通) E-mail shinrin@city.murakami.lg.jp

表紙:南会津の秋